

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	精神看護学実習
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(90時間)	開講年次	2年第2学期～3年第2学期
授業概要 *講師からのメッセージ	臨地実習では精神に健康障害がある対象とのかかわりを通し、自己洞察を行うことで対象の理解を深めていく。そして、対象が体験している世界を知る過程で、社会復帰の困難さを学んでいく。対象の尊厳を保ち高い倫理性をもって、その人が望むその人らしい生活が送れるように援助している多職種連携と、看護の実際を学んでもらいたい。		
目的：精神の健康障害をもつ患者及び家族を理解し、日常生活や対人関係に困難をきたしている患者へ治療的関わりを通して、その人らしい生活が送れるための援助ができる基礎的能力を養う。			
目標：1. 精神に健康障害のある患者の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる 2. 患者のセルフケア能力をアセスメントし必要な援助が実施できる 3. 患者－看護師関係の重要性を理解し、治療的に関わることができる 4. 社会復帰に向けて社会生活に適応するための援助の必要性が理解できる			
授 業 内 容			
1. 精神に健康障害がある対象の理解 1) 患者の症状の理解 2) 薬物の作用・副作用の観察と介入 3) 患者の治療の目的と効果 4) 患者の症状が対人関係に及ぼす影響 5) 入院環境が患者に及ぼす影響 2. 患者のセルフケア能力をアセスメントし必要な援助 1) 患者のセルフケア能力の評価と日常生活の自立度の把握 2) 患者の自己管理能力の判断 3) 患者の症状および治療が日常生活動作に及ぼす影響 4) 患者の状態に合わせた必要な日常生活援助の実施 3. 患者－看護者関係の形成過程と実践 1) 患者－看護者関係の形成過程 2) 患者の状態に応じ治療的効果を高める援助 3) 患者との関わりを通しての自己洞察 4. 患者の社会復帰に向けての援助 1) 患者を支援するための、医療チームにおける多職種の機能と連携 2) 社会復帰の促進を図るための精神科リハビリテーション 3) 患者の社会復帰に必要な社会資源 4) 精神障害者をめぐる社会の現状や問題			
授業方法	臨地実習		
評価方法	以下の内容を実習評価表(100点)に沿って評価を行う 対象理解・看護実践・実習態度・出席状況・実習記録		
備 考	関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。 関連科目：基礎分野、専門基礎分野、精神看護学概論、精神看護学疾病論、精神看護援助論		